

特性の分析

- ・ 特性の把握と適切な対応

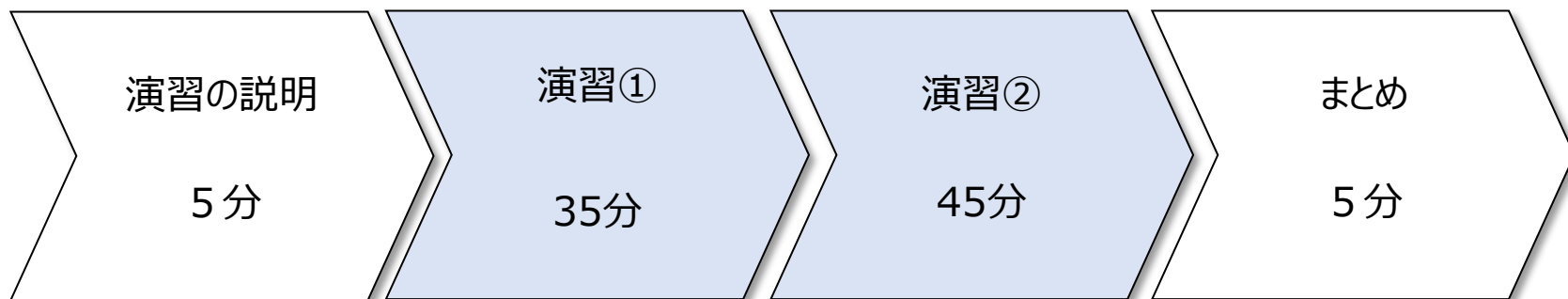
この時間で学ぶこと

- ・ 本人が表す行動について、支援者がその行動の背景にある理由が分からないため、自分なりの解釈をし、その結果として誤った対応を行ってしまうことがあります。
この時間は、行動の背景について考え、行動が起きている理由を整理する考え方を学びます。

【ポイント】

- ①補助シートを使い冰山モデルシートの使い方を学びましょう
- ②行動の背景にある【本人の特性】と【環境・状況】の相互作用を確認しましょう

この時間の流れ



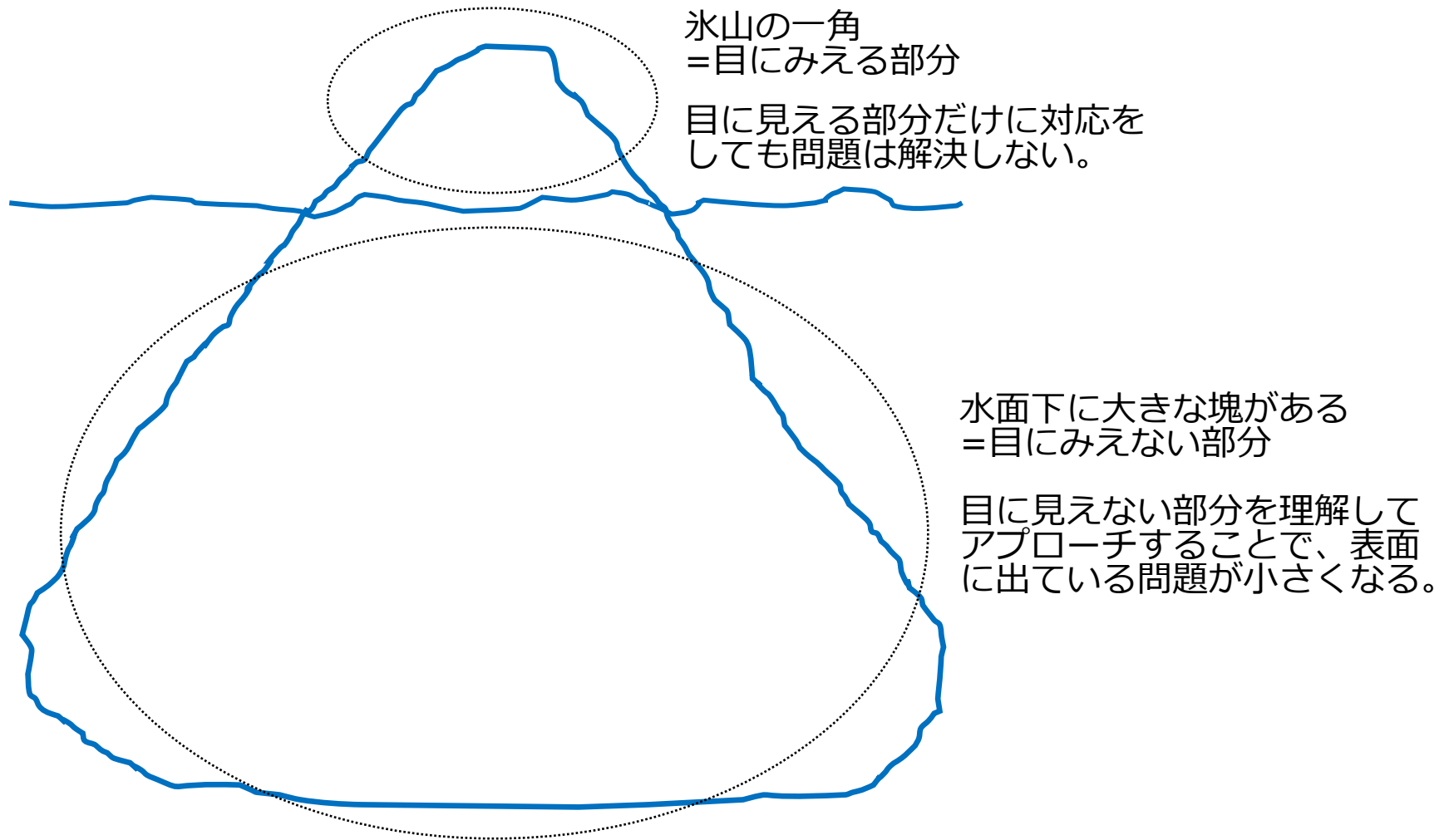
演習①：事例対象者の行動の背景を障害特性や環境から講師の解説とともに、個人ワークで学びます。

演習②：事例対象者の支援のアイデアを根拠をもとに整理する方法を個人・グループワークで学びます。

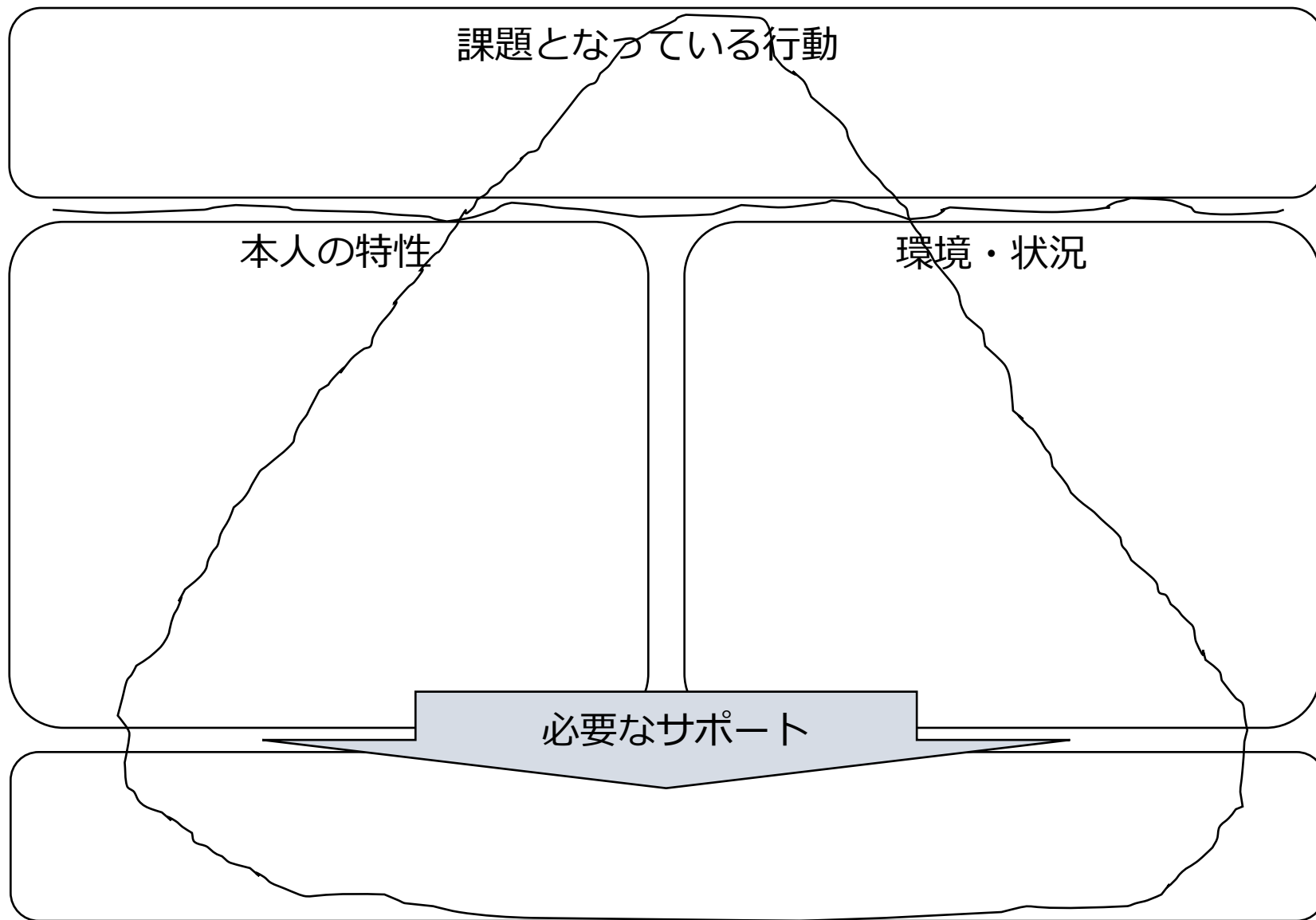
冰山って知ってますか？



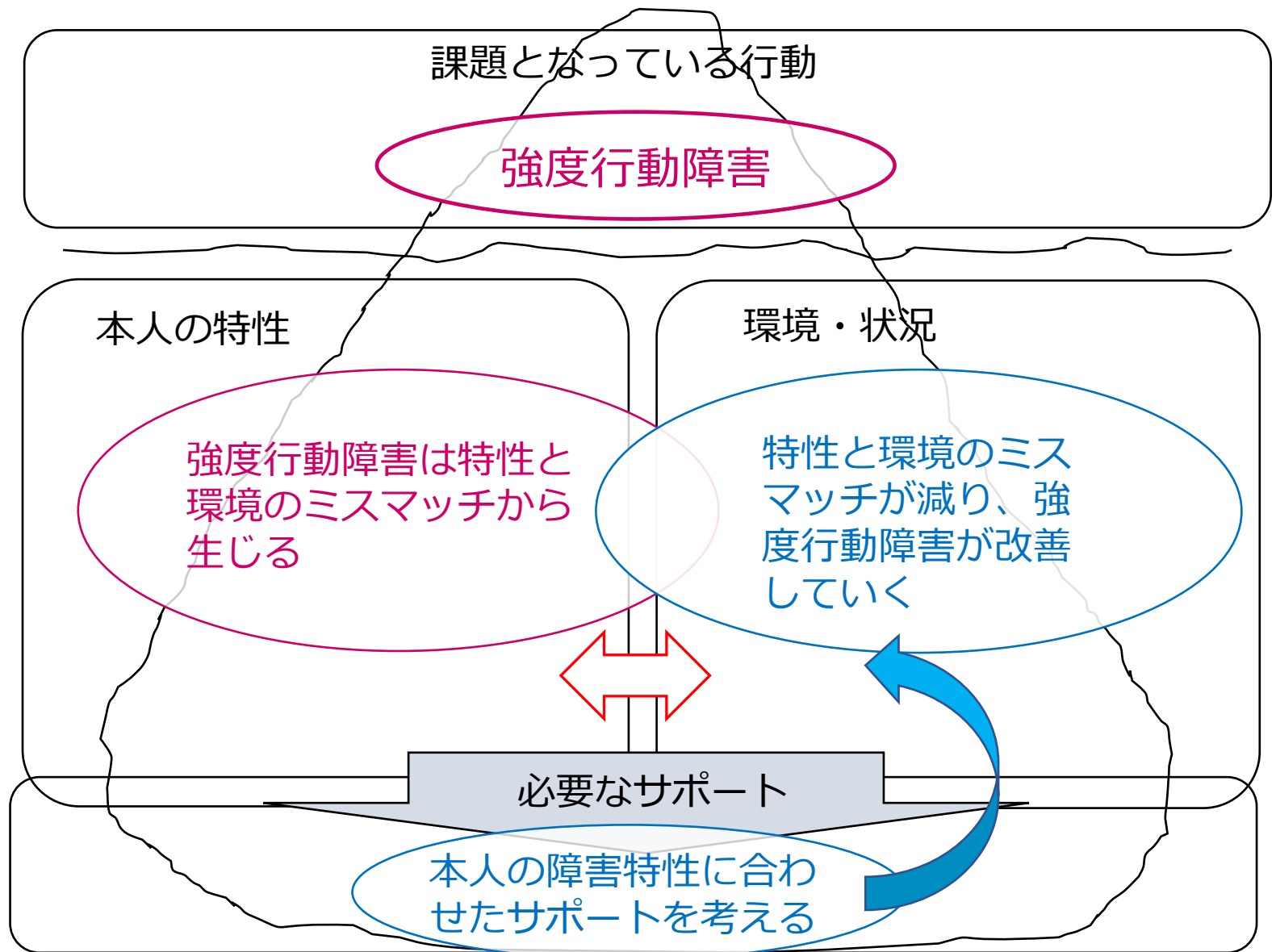
行動の背景を知るための「冰山モデル」



冰山モデルシート



氷山モデルシート



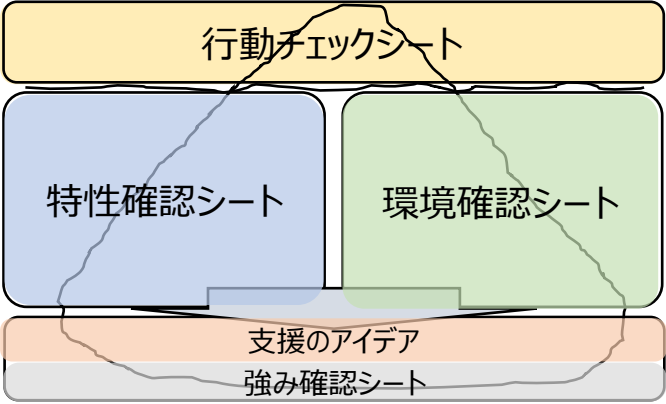
氷山モデルシートと補足シートの関係

行動チェックシート		
	例	記入の留意点や留意
準備段階	1. 準備が完了しているか	
	2. 参加者の人数を確認しているか	
	3. 参加者の名前を確認しているか	
	4. 参加者の服装を確認しているか	
実施段階	5. 参加者の服装を確認しているか	
	6. 参加者の服装を確認しているか	
	7. 参加者の服装を確認しているか	
	8. 参加者の服装を確認しているか	
確認段階	9. 参加者の服装を確認しているか	
	10. 参加者の服装を確認しているか	
	11. 参加者の服装を確認しているか	
	12. 参加者の服装を確認しているか	
評価段階	13. 参加者の服装を確認しているか	
	14. 参加者の服装を確認しているか	
	15. 参加者の服装を確認しているか	
	16. 参加者の服装を確認しているか	
フォローアップ	17. 参加者の服装を確認しているか	
	18. 参加者の服装を確認しているか	
	19. 参加者の服装を確認しているか	
	20. 参加者の服装を確認しているか	

行動チェックシート

特性確認シート		
	例	記入の留意点や留意
準備段階	1. 参加者の人数を確認しているか	
	2. 参加者の名前を確認しているか	
	3. 参加者の服装を確認しているか	
	4. 参加者の服装を確認しているか	
実施段階	5. 参加者の服装を確認しているか	
	6. 参加者の服装を確認しているか	
	7. 参加者の服装を確認しているか	
	8. 参加者の服装を確認しているか	
確認段階	9. 参加者の服装を確認しているか	
	10. 参加者の服装を確認しているか	
	11. 参加者の服装を確認しているか	
	12. 参加者の服装を確認しているか	
評価段階	13. 参加者の服装を確認しているか	
	14. 参加者の服装を確認しているか	
	15. 参加者の服装を確認しているか	
	16. 参加者の服装を確認しているか	
フォローアップ	17. 参加者の服装を確認しているか	
	18. 参加者の服装を確認しているか	
	19. 参加者の服装を確認しているか	
	20. 参加者の服装を確認しているか	

特性確認シート



強み（ストロング）確認シート	
	記入の留意点や留意
準備段階	
実施段階	
確認段階	
評価段階	
フォローアップ	

環境確認シート

強み（ストロング）確認シート	
	記入の留意点や留意
準備段階	
実施段階	
確認段階	
評価段階	
フォローアップ	

強み確認シート

氷山モデルシートと補足シートの関係

行動チェックシート

[illegible]

特性確認シート

課題となっている行動（本人が行っている行動）『 』		異能と多感性	多感の『イ』
社会力	人や物と心を通わせられる 状況の理解が深い	2) 相手の心を通がっている 2) 相手の行動についてよく理解するところがある 4) 周囲に起きていることへの心の動きがある 5) 周囲の立場が自分と持たれていることを理解することがある 6) 見えぬものの理解が深い	A) ぬれぬれと通う。見てもいいのでは、具体的に伝える。見えない場所、やめたい場所。 B) 誰の口で伝えたいかを具体的に伝える（見方の視点、場所の視点） C) 誰の口で「どう」情報を得たいかを伝え伝える（方法の視点、やめたい場所の視点）
	理解が深い	1) 状況、言葉の理解が深い 8) 一度にたくさんことを理解するところがある 9) 抽象的でよい表現の理解が深い	D) 本人が理解できる見方・ツール（文章、単語、絵、結、写真、シネマ、具体物など）で伝える（やめたい視点、見方の視点）
	両眼が深い	10) 状況、言葉で伝えたいところがある 11) どのようにして伝えたいかがある	E) 本人が発信しやすいツール（文章、単語、絵、結、写真、シネマ、具体物など）を提供する（やめたい視点、見方の視点）
	耳や口が深い	12) 誰に伝えたいかがない 13) 誰の口で伝えたいかがない 14) 表情や視線などと言語コミュニケーションが深い 15) 耳の音の多い、少ないが深い	F) 視覚的ツールでやり取りできるようにする（やめたい視点、見方の視点）
想像力	自分で考え立てることができる	16) 疑問の意図に気づくところがある 17) ほとんど、自分の思いをイメージで持たない 18) やるぶと自分で判断することがある 19) 先の予測することがある	G) 本人に「自分の考えや意見を伝える（場所の視点）」
	自分の変化が感じられる	20) 確信があるに判断することがある 21) 自分の心が揺ら揺らしているところがある 22) 周囲の心が揺ら揺らしている	H) 始りや終わりを分かるようにする（場所の視点、場所の視点） I) 活動に意味や目的をつとげることができる（方法の視点）
	物の一部に対する意識が鋭敏	23) 細部が目にふれる、心に触れる 24) 心の奥に大きな不安を感じる	J) 最初から「正しい」方法で行うことがよくある（方法の視点）
	感覚や感情など自然体	25) 感覚の連続や断片がある 26) 感覚の連続や断片がある 27) 感覚の連続や断片がある 28) 感覚の連続や断片がある 29) 味覚の連続や断片がある 30) 筋書きの特有の感覚がある	K) 苦手な感覚や少ないなどとの配慮をする（場所の視点） L) 好きな刺激、必要な刺激を保障する。（場所の視点）

環境確認シート

項目	環境確認の視点	具体的な環境
人	指示は何で出していますか（こびば、指示、実物、紙に書いて等） 指示の量は適切ですか 指示のタイミングは適切ですか 支援をする者の立ち位置は適切ですか その他	
物	何となく勘違いするような物はありますか 見ると気づくような物が見えていますか 物の量で気づくことはありますか その他	
場所	何をやる場所なのか見ればわかるようになっていますか 同じ場所や機器の目的が活動されていますか 整理整頓ができていますか 気が散りやすい環境になっていませんか その他	
状況	その活動開始はいつから入ったのですか その活動開始に気づくまでにかかる時間はありましたか その活動の内部に本人の苦手な動作や感情がこめられていますか その活動の目的（どうするか、いつから終わるのかなど）は理解できていますか	
音	その場所にはどんな音がしていましたか その中に本人が苦手そうなのはありますか	
気温	その場所の気温は何度くらいでしたか（ある人は暑かった・寒かった等） その気温は本人にとって快適なものでしたか	
湿度	その場所の湿度は何%くらいでしたか（ある人は蒸いていた・乾燥していた等） その湿度は本人にとって快適なものですか	
臭い	その場所にはどんな臭いしていましたか その中に本人が苦手そうなのはありますか	
	その他本人が不安になる原因になるかもしれないもの	
その他		

強み（ストロングス）確認シート

本人の強み（ストロングス） わかること・できること 例） ぐんぐん読むのが、ペットボトルのふたを開ける、ハジメを使うのが上手 など	活かせるような場面や状況
好きなこと（遊び方、過ごし方、キャラクターなど） やめたがること 例） ハンモックで寝れる、〇〇のキャラクター、ヒゲははる、色を曲めれる	
得意なこと（これには助けられているなど） 見方を覚えれば得意が あそびやすいこと 例） 目的がわかれば待つことができる、変更は勝手にあつても同じことはでき る	
その他	

行動チェックシート

特性確認シート

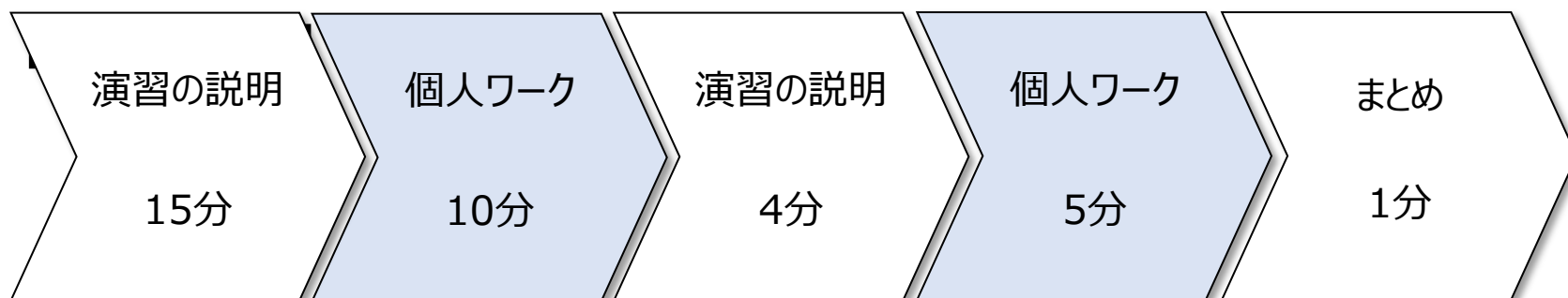
環境確認シート

強み確認シート

支援のアイデア

演習① | 行動の背景を考える

- 行動チェックシートと冰山モデルシートを使用します
- 特性確認シートと冰山モデルシートを使用します
- 環境確認シートと冰山モデルシートを使用します



田中さんの公園での水遊び

検討したい行動を見てみましょう

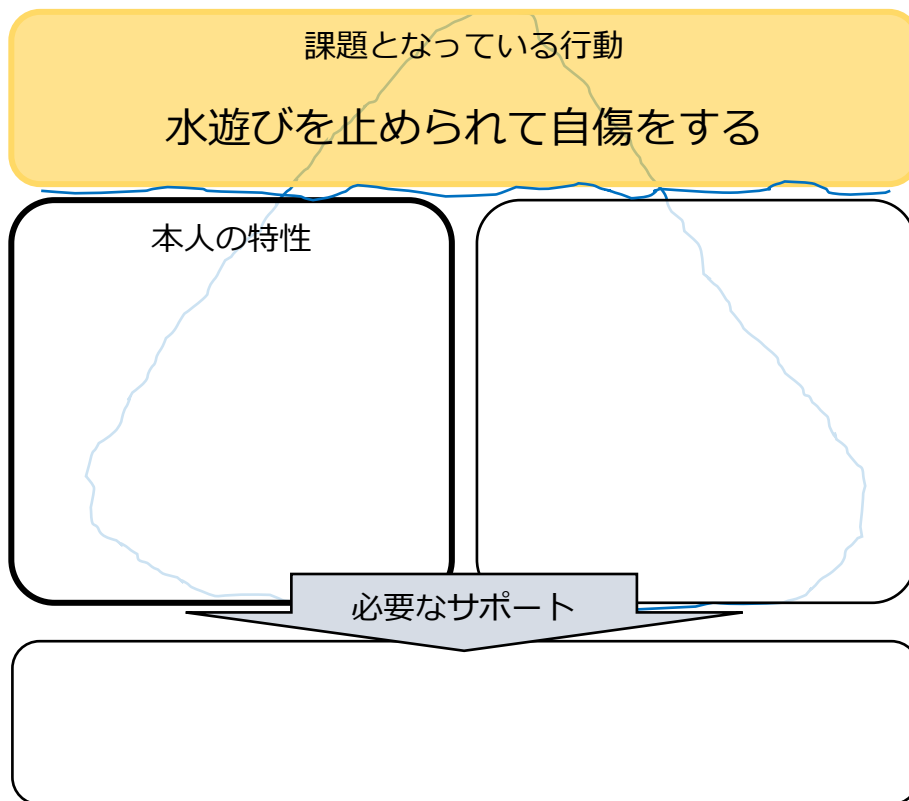


まず「行動チェックシート（冰山演習用）」と「冰山モデルシート」を使います

行動チェックシート(冰山演習用)

	例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人々や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない イ: 人の関わりが一方的であることが多い ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する	ヘルパーが話しかけてもヘルパーの方を向かない
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない	ヘルパーを置き去りにして一人で走って行く
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない	周囲の安全を気にしていない様子がない
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する	横断歩道で安全確認をしないで走る 公園の水道で水遊びをする・水遊びを止められて自傷をする
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示しても行動できない	ヘルパーの声掛けだけでは次の行動に移れない
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする	ヘルパーが終わったと言ってもやめられない
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコーリア）	「行きましょうか」「行きましょうか」と答える
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす	公園の柵や水道を見ると即行動に移す
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない	
	やり取りが難しい	シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない	
		ス: やり取りが噛み合わない	
想像力	自分で予定を立てることが難しい	セ: やり取りが続かない	ヘルパーの声掛けにはエコーリアで答えるだけ
		ソ: 衝突に話し始めたり、黙り込むことがある	
		タ: やることがないときにワロワロしている、じっとしている	
	変化への対応が難しい	チ: 自分から動くことができない	柵につかまり揺れる、水遊びなどを自分でやめて次の活動に移ることができない
		ツ: 予定の変更と混乱することが多い	
		テ: 自分のルールを変えたと混乱することが多い	
	物の一部に対する強い興味	ト: 日課が変更されると混乱することが多い	
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない	水遊びをやめることができない 止められて自傷をする
		ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある	水へのこだわりがある
感覚	感覚が敏感または鈍感	ネ: 特定の物などへのこだわりや執着がある	
		ノ: 特定の物などへのこだわりや執着がある	
		ハ: 聴く、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある	常に耳を塞いでいる
		ヒ: 聴く、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある	キラキラした刺激が好き
		ヘ: 特定の触覚に没頭する、極端に嫌がる、または感じないような行動がある	水を触れたがる
		ホ: 美味しい偏食、刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる、などの行動がある	
		ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入らない場所がある、などの行動がある	
		ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある	活動の途中公園の柵につかまり揺れていた

冰山モデルシート



田中さんの気になる行動の中から検討する行動を決めます

行動チェックシート(氷山演習用)

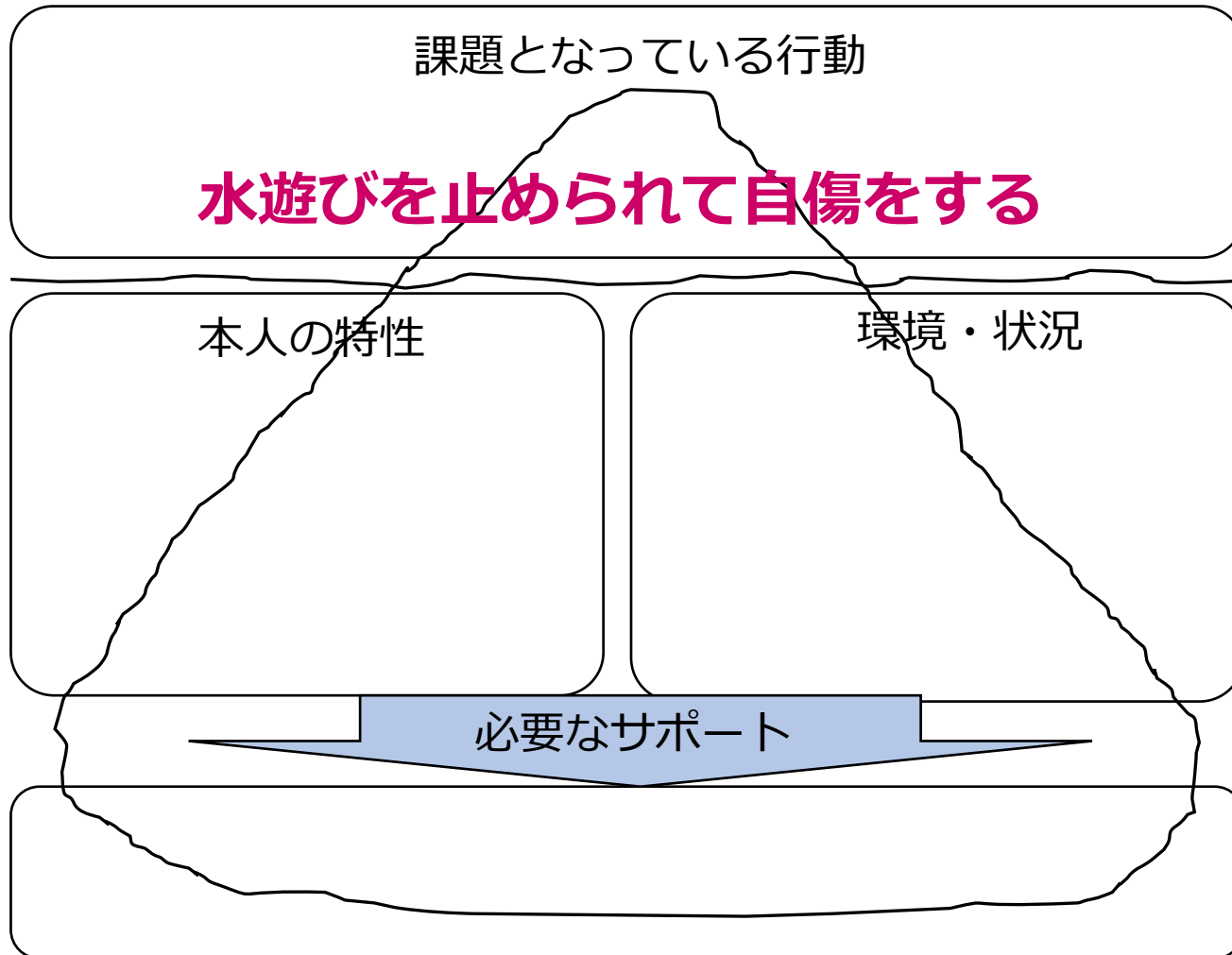
ワークシート②

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない	✓	ヘルパーが話しかけてもヘルパーの方を向かない
		イ: 人との関わりが一方的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する		
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない	✓	ヘルパーを置き去りにして一人で走って行く
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない	✓	周囲の安全を気にしている様子がない
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する	✓	横断歩道で安全確認をしないで走る 公園の水道で水遊びをする・水遊びを止められて自傷をする
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない	✓	ヘルパーの声掛けだけでは次の行動に移れない
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする	✓	ヘルパーが終わりと言ってもやめられない
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す(エコーリア)	✓	「行きましょうか」に「行きましょうか」と答える
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす	✓	公園の柵や水道を見ると即行動に移す
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない		
	やり取りが難しい	ス: やり取りがかみ合わない		
		セ: やり取りが続かない	✓	ヘルパーの声掛けにはエコーリアで答えるだけ
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている		
		チ: 自分から動くことができない	✓	柵につかまり揺れる、水遊びなどを自分でやめて次の活動に移ることができない
		ツ: 予定の変更に混乱することが多い		
	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えたと混乱することが多い		
		ト: 日課が変更されると混乱することが多い		
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない	✓	水遊びをやめることができない 止められて自傷をする
	物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある	✓	水へのこだわりがある
		ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない		
		ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある		
感覚	感覚が敏感または鈍感	ノ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある	✓	常に耳を塞いでいる
		ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある	✓	キラキラした刺激が好き
		ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある	✓	水を触りたがる
		フ: 著しい偏食、刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる、など行動がある		
		ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある	✓	活動の途中公園の柵につかまり揺れていた

水遊びを止められて自傷をする

今回は、この行動について検討していくことにします

氷山モデルを使って田中さんの行動を整理します



課題となっている行動

1. 自分自身の生命あるいは健康に著しい危険を与える行動
2. 周囲の人あるいは状況に著しい危険ないし混乱を与える行動
3. 自分自身の意味ある活動への参加や学習を著しく妨げる行動

以上3つの条件のうち少なくともひとつに該当する行動と言われる。

参考文献『発達障害児の問題行動その理解と対応マニュアル』志賀利一

1. 自分自身の生命あるいは健康に著しい危険を与える行動

→自傷で田中さんがケガをするかもしれない

2. 周囲の人あるいは状況に著しい危険ないし混乱を与える行動

→大声を聞いた周囲の人が恐怖を感じるかもしれない

→支援者も恐怖を感じるかもしれない

3. 自分自身の意味ある活動への参加や学習を著しく妨げる行動

→次の活動場所に移れないかもしれない

行動を観察するもう一つの理由

行動チェックシート(氷山演習用)

ワークシート②

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない	✓	ヘルパーが話しかけてもヘルパーの方を向かない
		イ: 人の関わりが一方的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する		
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない	✓	ヘルパーを置き去りにして一人で走って行く
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない	✓	周囲の安全を気にしている様子がない
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する	✓	横断歩道で安全確認をしないで走る 公園の水道で水遊びをする・水遊びを止められて自傷をする
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない	✓	ヘルパーの声掛けだけでは次の行動に移れない
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする	✓	ヘルパーが終わりと言ってもやめられない
		ク: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコーリア）	✓	「行きましょうか」に「行きましょうか」と答える
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす	✓	公園の柵や水道を見ると即行動に移す
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない		
	やり取りが難しい	ス: やり取りがかみ合わない		
		セ: やり取りが続かない	✓	ヘルパーの声掛けにはエコーリアで答えるだけ
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている		
		チ: 自分から動くことができない	✓	柵につかまり揺れる、水遊びなどを自分でやめて次の活動に移ることができない
		ツ: 予定の変更に混乱することが多い		
	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えようと混乱することが多い		
		ト: 日課が変更されると混乱することが多い		
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない	✓	水遊びをやめることができない 止められて自傷をする
	物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある	✓	水へのこだわりがある
		ネ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない		
		ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある		
感覚	感覚が敏感または鈍感	ノ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある	✓	常に耳を塞いでいる
		ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある	✓	キラキラした刺激が好き
		ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある	✓	水を触りたがる
		フ: 著しい偏食、刺激の強い味を好む、同じものはかり食べる、などの行動がある		
		ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある	✓	活動の途中公園の柵につかまり揺れていた

「公園で水遊びをして止めるとパニックになるので困っている」という支援者の視点から



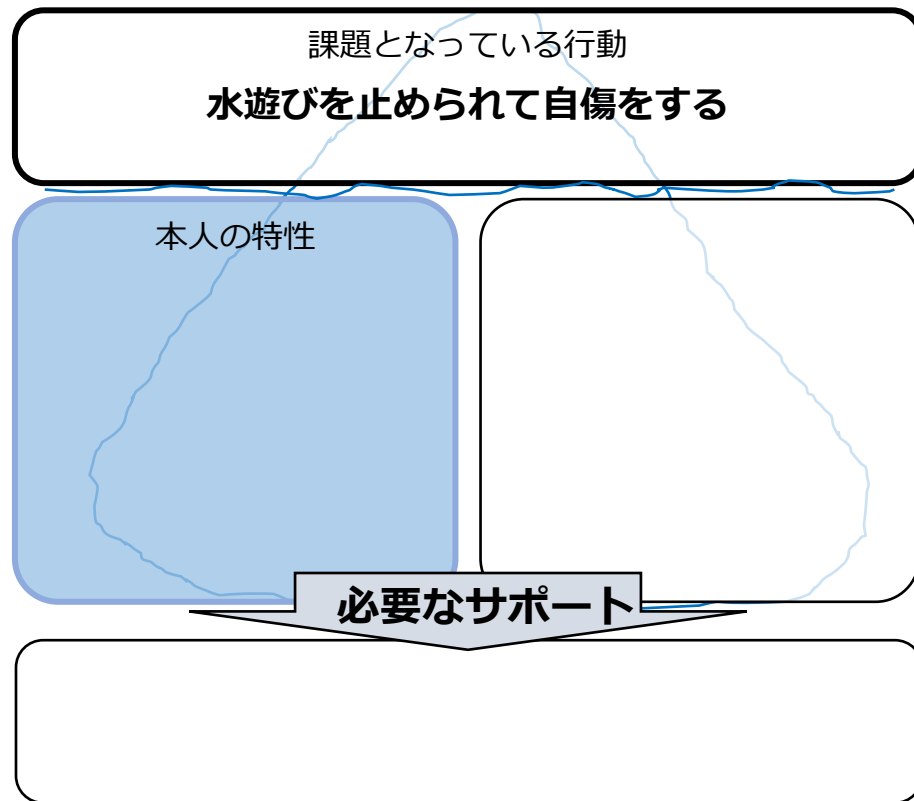
- ・ 社会性
- ・ コミュニケーション
- ・ 想像力
- ・ 感覚
- ・ 利用者が何に困っているのかを
考えることで、改めて、苦手さ
への配慮の視点に気づく

次に「特性確認シート（氷山演習用）」を使って 本人の特性を整理します

特性確認シート(氷山演習用)

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 』			
		背景となる特性	支援のアイデア
社会性	人や集団との関係に難しさがある	1) 相手への関心が薄い	✓
		2) 相手から期待されていることを理解するのが難しい	A) 汲み取ってもらう、察してもらうではなく、具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点)
		3) 相手が見ているものを見て相手の考えを察することが難しい	B) 誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点)
	状況の理解が難しい	4) 周囲で起きていることへの関心が薄い	
		5) 周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい	✓
		6) 見えないものの理解が難しい	✓
コミュニケーション	理解が難しい	7) 話し言葉の理解が難しい	✓
		8) 一度にたくさんのかを理解するのが難しい	
		9) 抽象的であいまいな表現の理解が難しい	
	発信が難しい	10) 話し言葉で伝えることが難しい	
		11) どのように伝えたらいいかわからない	✓
		12) 誰に伝えていいかわからない	
	やり取りが難しい	13) 場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい	
		14) 表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい	
		15) やり取りの量が多いと処理が難しい	
想像力	自分で予定を立てることが難しい	16) 段取りを適切に組むことが難しい	G) 本人に分かりやすく予定や変更を伝える(時間の視点)
		17) なんとなく、だいたいなどのイメージを持ちにくい	
		18) 今やることを自分で判断することが難しい	H) 始まりや終わりを分かりやすいようにする(時間の視点・場所の視点)
	変化への対応が難しい	19) 先の予測をすることが難しい	
		20) 臨機応変に判断することが難しい	I) 活動に意味や目的を持つことができる工夫をする(方法の視点)
		21) 自分のやり方から抜け出すことが難しい	
	物の一部に対する強い興味	22) 興味関心が狭くて強い	J) 最初から正しい方法で行うことができるようにする(方法の視点)
		23) 細部が気になり違いに敏感	
		24) 少しの違いで大きな不安を感じる	
感覚	感覚が敏感または鈍感	25) 聴覚の過敏や鈍麻がある	✓
		26) 視覚の過敏や鈍麻がある	
		27) 触覚の過敏や鈍麻がある	✓
		28) 嗅覚の過敏や鈍麻がある	
		29) 味覚の過敏や鈍麻がある	
		30) 前庭覚の特有の感覚がある	

氷山モデルシート



田中さんが水遊びを止められない理由や止められて自傷をする理由を考えます

特性確認シート

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 』			
		背景となる特性	支援のアイデア
社会性	人や集団との関係に難しさがある	1) 相手への関心が薄い	A) 汲み取ってもらふ、察してもらふではなく、具体的に伝える（見え方の視点・やりとりの視点）
		2) 相手から期待されていることを理解するのが難しい	
		3) 相手がしているものを見て相手の考えを察することが難しい	
	状況の理解が難しい	4) 周囲で起こっていることへの関心が薄い	B) 誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える（見え方の視点・やりとりの視点）
		5) 周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい	
		6) 見えないものの理解が難しい	
コミュニケーション	理解が難しい	7) 話し言葉の理解が難しい	C) 「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかるように伝える（方法の視点・やりとりの視点）
		8) 一度にたくさんのかことを理解するのが難しい	
		9) 抽象的であいまいな表現の理解が難しい	
	発信が難しい	10) 話し言葉で伝えることが難しい	D) 本人が理解できる見える情報（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など）で伝える（やりとりの視点・見え方の視点）
		11) どのようにして伝えたいかわからない	
		12) 誰に伝えていいかわからない	
	やり取りが難しい	13) 場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい	E) 本人が発信しやすいツールを（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など）提供する（やりとりの視点・見え方の視点）
		14) 表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい	
		15) やり取りの量が多いと処理が難しい	
想像力	自分で予定を立てることが難しい	16) 段取りを適切に組むことが難しい	F) 視覚的なツールでやり取りができるようにする（やりとりの視点・見え方の視点）
		17) なんとなく、だいたいなどのイメージを持ちにくい	
		18) 今やことを自分で判断することが難しい	
	変化への対応が難しい	19) 先の予測をすることが難しい	G) 本人に分かりやすく予定や変更を伝える（時間の視点）
		20) 臨機応変に判断することが難しい	
		21) 自分のやり方から抜け出すことが難しい	
	物の一部に対する強い興味	22) 興味関心が狭くて強い	H) 始まりや終わりを分かりやすいようにする（時間の視点・場所の視点）
		23) 細部が気になり違いに敏感	
		24) 少しの違いで大きな不安を感じる	
感覚	感覚が敏感または鈍感	25) 聴覚の過敏や鈍麻がある	I) 活動に意味や目的を持つことができる工夫をする（方法の視点）
		26) 視覚の過敏や鈍麻がある	
		27) 触覚の過敏や鈍麻がある	
		28) 嗅覚の過敏や鈍麻がある	
		29) 味覚の過敏や鈍麻がある	
		30) 前庭覚の特有の感覚がある	
			J) 最初から正しい方法で行うことができるようにする（方法の視点）
			K) 苦手な刺激を少なくするための配慮をする（場所の視点）
			L) 好きな刺激、必要な刺激は保障する（場所の視点）

田中さんが水遊びを止められない理由や 止められて自傷をする理由を考えます

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 水遊びを止められて自傷をする 』				
		背景となる特性		支援のアイデア
社会性	人や集団との関係に 難しさがある	1) 相手への関心が薄い	✓	A) 汲み取ってもらう、察してもらうではなく、 具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの 視点)
		2) 相手から期待されていることを理解するのが難しい		
		3) 相手が見ているものを見て相手の考えを察することが難しい		
	状況の理解が難しい	4) 周囲で起こっていることへの関心が薄い		B) 誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える （見え方の視点・やりとりの視点）
		5) 周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい	✓	
		6) 見えないものの理解が難しい	✓	
				C) 「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかる ように伝える（方法の視点・やりとりの視 点）

田中さんが水遊びを止められない理由や 止められて自傷をする理由を考えます

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 水遊びを止められて自傷をする 』				
		背景となる特性		支援のアイデア
コミュニケーション	理解が難しい	7) 話し言葉の理解が難しい	✓	D) 本人が理解できる見える情報（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など）で伝える（やりとりの視点・見え方の視点）
		8) 一度にたくさんのことを理解するのが難しい		
		9) 抽象的であいまいな表現の理解が難しい		
	発信が難しい	10) 話し言葉で伝えることが難しい		E) 本人が発信しやすいツールを（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など）提供する（やりとりの視点・見え方の視点）
		11) どのようにして伝えたらいいかわからない	✓	
		12) 誰に伝えていいかわからない		
	やり取りが難しい	13) 場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい		F) 視覚的なツールでやり取りができるようにする（やりとりの視点・見え方の視点）
		14) 表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい		
		15) やり取りの量が多いと処理が難しい		

田中さんが水遊びを止められない理由や 止められて自傷をする理由を考えてみましょう

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 水遊びを止められて自傷をする』				
		背景となる特性		支援のアイデア
想像力	自分で予定を立てることが難しい	16) 段取りを適切に組むことが難しい		G) 本人に分かりやすく予定や変更を伝える （時間の視点）
		17) なんとなく、だいたいなどのイメージを持ちにくい		
		18) 今やることを自分で判断することが難しい		H) 始まりや終わりを分かりやすいようにする （時間の視点・場所の視点）
	変化への対応が難しい	19) 先の予測をすることが難しい		
		20) 臨機応変に判断することが難しい		I) 活動に意味や目的を持つことができる工夫をする （方法の視点）
		21) 自分のやり方から抜け出すことが難しい		
	物の一部に対する強い興味	22) 興味関心が狭くて強い		J) 最初から正しい方法で行うことができるようにする （方法の視点）
		23) 細部が気になり違いに敏感		
		24) 少しの違いで大きな不安を感じる		

田中さんが水遊びを止められない理由や 止められて自傷をする理由を考えます

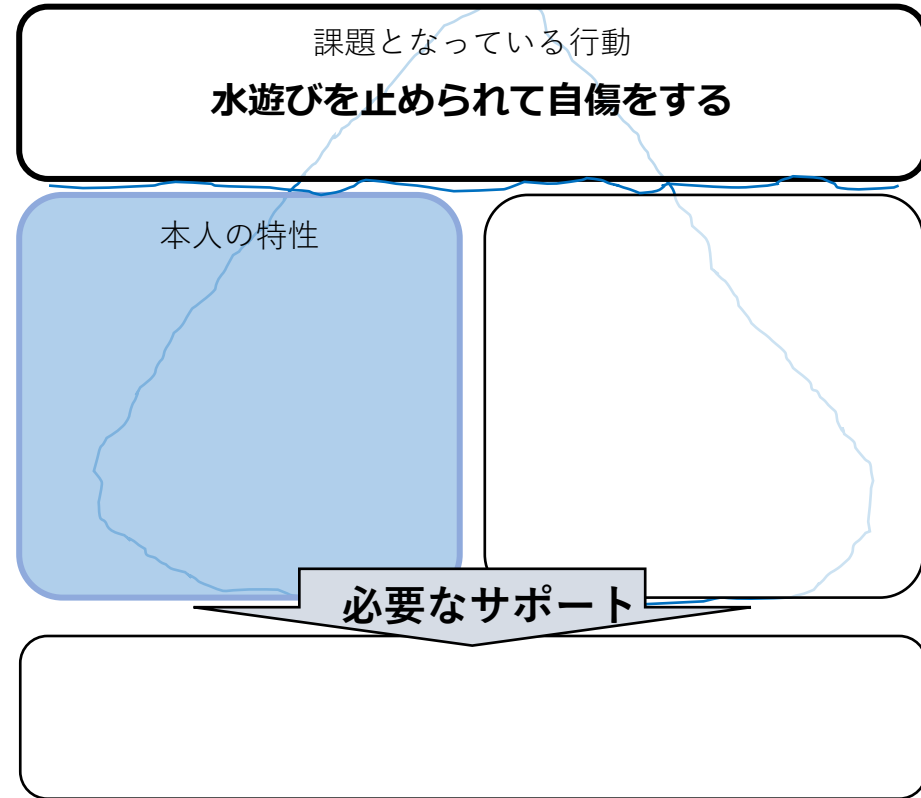
課題となっている行動（本人が困っている行動）『 』			
		背景となる特性	支援のアイデア
感覚	感覚が敏感または鈍感	25) 聴覚の過敏や鈍麻がある	K) 苦手な刺激を少なくするための配慮をする（場所の視点）
		26) 視覚の過敏や鈍麻がある	
		27) 触覚の過敏や鈍麻がある	L) 好きな刺激、必要な刺激は保障する（場所の視点）
		28) 嗅覚の過敏や鈍麻がある	
		29) 味覚の過敏や鈍麻がある	
		30) 前庭覚の特有の感覚がある	

確認した特性を「冰山モデルシート」に記入しましょう

特性確認シート

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない	✓	ヘルパーが話しかけてもヘルパーの方を向かない
		イ: 人との関わりが一方的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する		
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない	✓	ヘルパーを置き去りにして一人で走って行く
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない	✓	周囲の安全を気にしている様子がない
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する	✓	横断歩道で安全確認をしないで走る 公園の水道で水遊びをする・水遊びを止められ自傷する
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない	✓	ヘルパーの声掛けだけでは次の行動に移れない
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする	✓	ヘルパーが終わりと言ってもやめられない
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコーリア）	✓	「行きましようか」「行きましようか」と答える
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす	✓	公園の柵や水道を見ると即行動に移す
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない		
	やり取りが難しい	ス: やり取りがかみ合わない		
		セ: やり取りが続かない	✓	ヘルパーの声掛けにはエコーリアで答えるだけ
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている		
		チ: 自分から動くことができない	✓	柵につかまり揺れる、水遊びなどを自分でやめて次の活動に移ることができない
		ツ: 予定の変更に混乱することが多い		
	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えようと混乱することが多い		
		ト: 日課が変更されると混乱することが多い		
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない	✓	水遊びをやめることができない 止められて自傷をする
	物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある	✓	水へのこだわりがある
		ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない		
		ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある		
感覚	感覚が敏感または鈍感	ノ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある	✓	常に耳を塞いでいる
		ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある	✓	キラキラした刺激が好き
		ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある	✓	水を触れたがる
		フ: 著しい偏食、刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる、など行動がある		
		ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いが入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ: クルクル回る、ロッピングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある	✓	活動の途中公園の柵につかまり揺れていた

冰山モデルシート



課題となっている行動

水遊びを止められて自傷をする

本人の特性

- 1) 相手への関心が薄い
- 5) 周囲の様子から期待されていることを理解するのが難しい
- 6) 見えないものの理解が難しい
- 7) 話し言葉の理解が難しい
- 11) どのようにして伝えたらいいかわからない
- 18) 今やることが自分で判断することが難しい
- 19) 先の予測をすることが難しい
- 22) 興味関心が狭くて強い
- 27) 触覚の過敏や鈍麻がある

環境・状況

必要なサポート

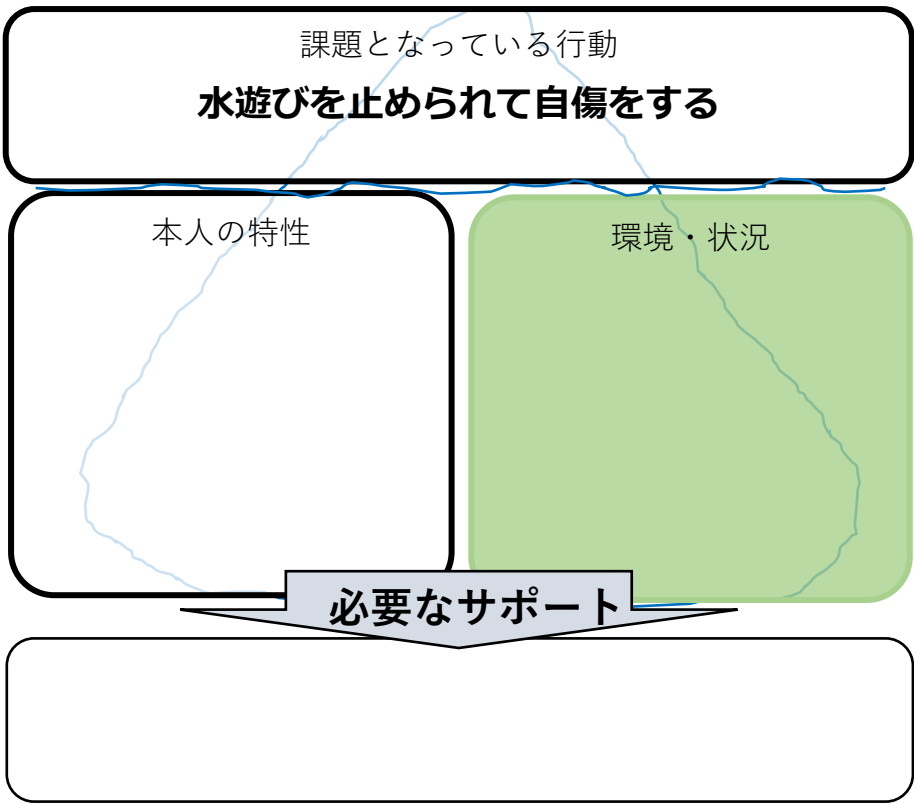
(

次に「環境確認シート」を使って本人の特性を整理します

環境確認シート（冰山演習用）

項目	環境確認の視点	具体的な環境
人	指示は何で出していますか（ことば・指さし・実物・紙に書いて等） 指示の量は適切ですか 指示のタイミングは適切ですか 支援をするときの立ち位置は適切ですか その他	
物	見ると勘違いするような物がありますか 見えると気になるような物が見えていますか 物の量で気づいたことはありますか その他	水道が見えやすい
場所	何をすべき場所なのか見ればわかるようになっていますか 同じ場所で複数の目的の活動をしていますか 整理整頓はできていますか 気が散りやすい環境になっていませんか その他	公園での目的は「柵でゆれる」か、 「水道で遊ぶ」に見えていた
状況	本人の体調はいつもと比べてどうですか その活動の前に気になるできごとはありませんでしたか その活動の内容に本人の苦手な動作や感覚などが含まれていませんか その活動の目的（どうするのか、どうなったら終わるのかなど）は理解できていますか その他	どうなったら終わりがわかりにくい 公園に何をしに行ったのかわからない
音	その場所にはどんな音がしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
気温	その場所の気温は何度くらいでしたか（あるいは暑かった・寒かった等） その気温は本人にとって快適なものです	
湿度	その場所の湿度は何%くらいでしたか（あるいは蒸していた・乾燥していた等） その湿度は本人にとって快適なものです	
臭い	その場所にはどんな臭いがしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
その他	その他本人が不安定になる要因になるかもしれないもの	

冰山モデルシート



次のような項目を点検していきます

環境確認シート（氷山演習用）

項目	環境確認の視点	具体的な環境
人	指示は何で出していますか（ことば・指さし・実物・紙に書いて等） 指示の量は適切ですか 指示のタイミングは適切ですか 支援をするときの立ち位置は適切ですか その他	
物	見ると勘違いするような物がありますか 見えると気になるような物が見えていますか 物の量で気づいたことはありますか その他	水道が見えやすい
場所	何をすべき場所なのか見ればわかるようになっていますか 同じ場所で複数の目的の活動をしていますか 整理整頓はできていますか 気が散りやすい環境になっていませんか その他	公園での目的は「柵でゆれる」か、「水道で遊ぶ」に見えていた
状況	本人の体調はいつもと比べてどうですか その活動の前に気になるできごとはありませんでしたか その活動の内容に本人の苦手な動作や感触などが含まれていませんか その活動の目的（どうするのか、どうしたら終わるのかなど）は理解できていますか その他	どうなったら終わりかがわかりにくい 公園に何をしに行ったのかわからない

次のような項目を点検していきます

環境確認シート（冰山演習用）

項目	環境確認の視点	具体的な環境
音	その場所にはどんな音がしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
気温	その場所の気温は何度くらいでしたか（あるいは暑かった・寒かった等） その気温は本人にとって快適なものですか	
湿度	その場所の湿度は何%くらいでしたか（あるいは蒸していた・乾燥していた等） その湿度は本人にとって快適なものですか	
臭い	その場所にはどんな臭いがしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
その他	その他本人が不安定になる要因になるかもしれないもの	

「人」について気づいたことを記入してみましょう

環境確認シート（氷山演習用）

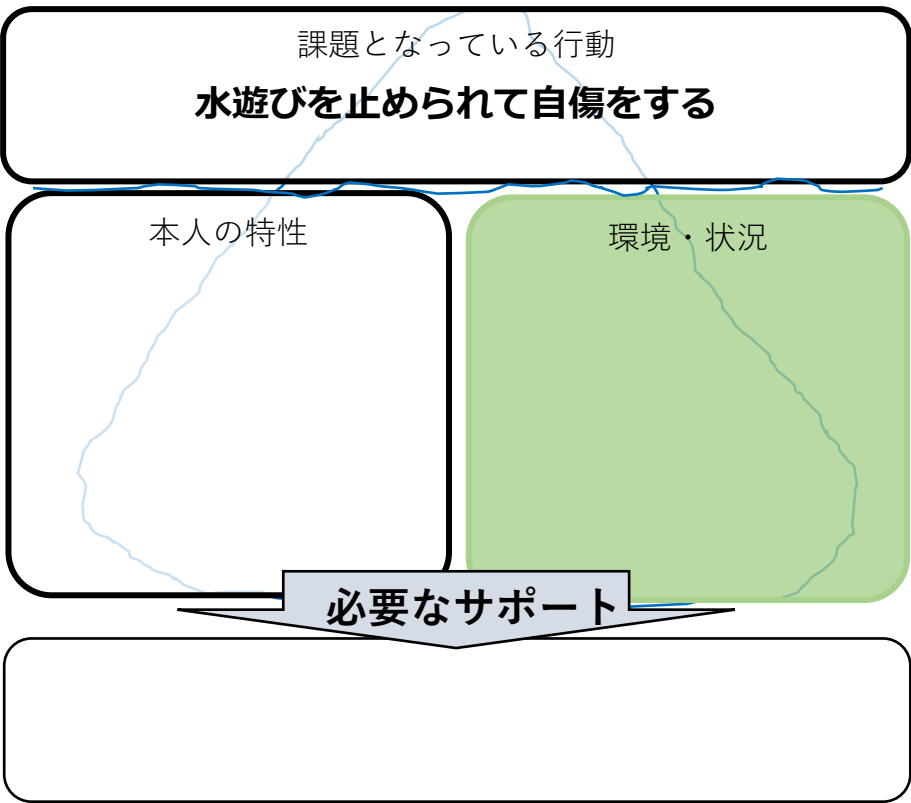
項目	環境確認の視点	具体的な環境
人	指示は何で出していますか（ことば・指さし・実物・紙に書いて等） 指示の量は適切ですか 指示のタイミングは適切ですか 支援をするときの立ち位置は適切ですか その他	
物	見ると勘違いするような物がありますか 見ると気になるような物が見えていますか 物の量で気づいたことはありますか その他	水道が見えやすい
場所	何をすべき場所なのか見ればわかるようになっていますか 同じ場所で複数の目的の活動をしていますか 整理整頓はできていますか 気が散りやすい環境になっていませんか その他	公園での目的は「柵でゆれる」か、「水道で遊ぶ」に見えていた
状況	本人の体調はいつもと比べてどうですか その活動の前に気になるできごとはありませんでしたか その活動の内容に本人の苦手な動作や感触などが含まれていませんか その活動の目的（どうするのか、どうなったら終わるのかなど）は理解できていますか その他	どうなったら終わりかがわかりにくい 公園に何をしに行ったのかわからない

確認した環境を「冰山モデルシート」に記入しましょう

環境確認シート（冰山演習用）

項目	環境確認の視点	具体的な環境
人	指示は何で出していますか（ことば・指さし・実物・紙に書いて等） 指示の量は適切ですか 指示のタイミングは適切ですか 支援をするときの立ち位置は適切ですか その他	
物	見ると勘違いするような物はありますか 見ると気になるような物が見えていますか 物の量で気づいたことはありますか その他	水道が見えやすい
場所	何をすべき場所なのか見ればわかるようになっていきますか 同じ場所で複数の目的の活動をしていますか 整理整頓はできていますか 気が散りやすい環境になっていませんか その他	公園での目的は「柵でゆれる」か、 「水道で遊ぶ」に見えていた
状況	本人の体調はいつもと比べてどうですか その活動の前に気になるできごとはありませんでしたか その活動の内容に本人の苦手な動作や感触などが含まれていませんか その活動の目的（どうするのか、どうしたら終わるのかなど）は理解できていますか その他	どうなったら終わりがかわりにくい 公園に何をしに行ったのかわからない
音	その場所にはどんな音がしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
気温	その場所の気温は何度くらいでしたか（あるいは暑かった・寒かった等） その気温は本人にとって快適なものです	
湿度	その場所の湿度は何%くらいでしたか（あるいは蒸していた・乾燥していた等） その湿度は本人にとって快適なものです	
臭い	その場所にはどんな臭いがしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
その他	その他本人が不安定になる要因になるかもしれないもの	

冰山モデルシート



課題となっている行動

水遊びを止められて自傷をする

本人の特性

- 1) 相手への関心が薄い
- 5) 周囲の様子から期待されていることを理解するのが難しい
- 6) 見えないものの理解が難しい
- 7) 話し言葉の理解が難しい
- 11) どのようにして伝えたらいいかわからない
- 18) 今やることが自分で判断することが難しい
- 19) 先の予測をすることが難しい
- 22) 興味関心が狭くて強い
- 27) 触覚の過敏や鈍麻がある

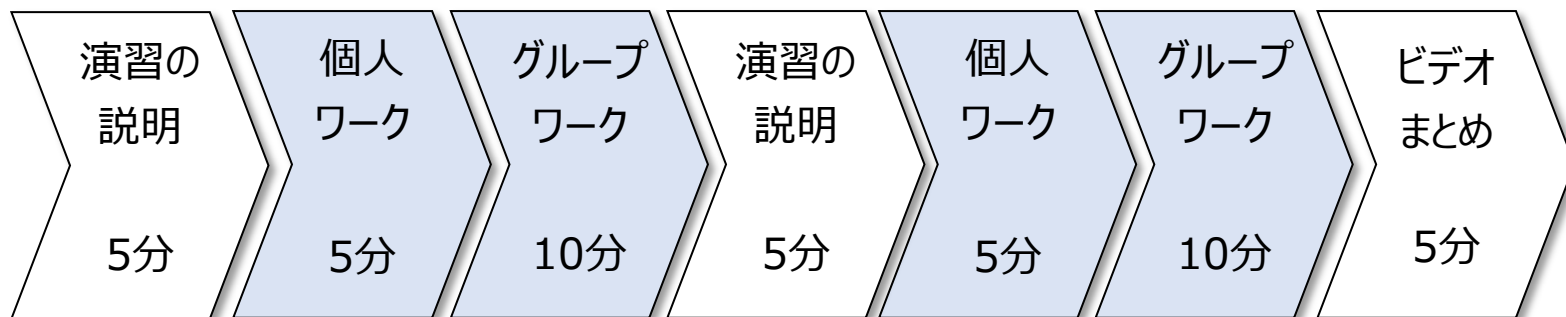
環境・状況

必要なサポート

演習② | 支援のアイデアを考える

- 特性確認シートと冰山モデルシートを使用します
- 強み確認シートと冰山モデルシートを使用します

【演習の流れ】

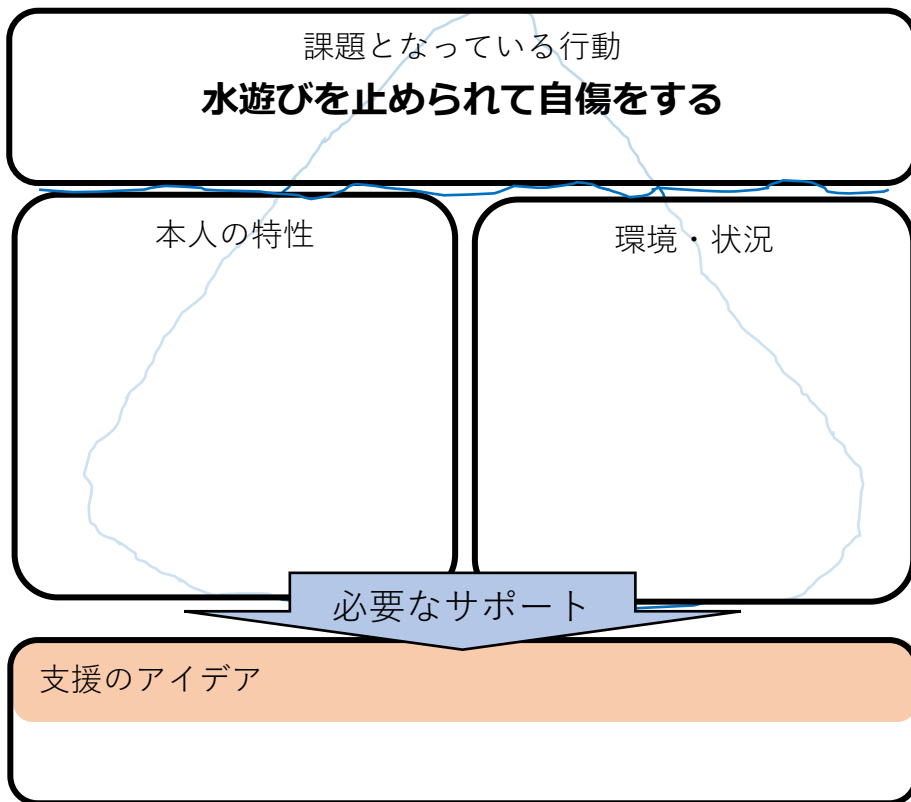


次に必要なサポートを、「特性確認シート（氷山演習用）の支援のアイデア」を使って整理します

特性確認シート（氷山演習用）

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 』			
	背景となる特性		支援のアイデア
社会性	人や集団との関係に難しさがある	1) 相手への関心が薄い	✓
		2) 相手から期待されていることを理解するのが難しい	A) 涙み取ってもらふ、察してもらふではなく、具体的に伝える（見え方の視点・やりとりの視点）
		3) 相手が見ているものを見て相手の考えを察することが難しい	B) 誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える（見え方の視点・やりとりの視点）
	状況の理解が難しい	4) 周囲で起きていることへの関心が薄い	
		5) 周囲の様子から期待されていることを理解することが難しい	✓
		6) 見えないものの理解が難しい	✓
コミュニケーション	理解が難しい	7) 話し言葉の理解が難しい	✓
		8) 一度にたくさんのことを理解するのが難しい	
		9) 抽象的であいまいな表現の理解が難しい	
	発信が難しい	10) 話し言葉で伝えることが難しい	
		11) どのようにして伝えたいのか分からない	✓
		12) 誰に伝えていいかわからない	
	やり取りが難しい	13) 場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい	
		14) 表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい	
		15) やり取りの量が多いと処理が難しい	
想像力	自分で予定を立てることが難しい	16) 段取りを適切に組むことが難しい	
		17) なんとなく、だいたいなどのイメージを持ちにくい	
		18) 今やることを自分で判断することが難しい	
	変化への対応が難しい	19) 先の予測することが難しい	
		20) 臨機応変に判断することが難しい	
		21) 自分のやり方から抜け出すことが難しい	
	物の一部に対する強い興味	22) 興味関心が狭くて強い	
		23) 細部が気になり違いに敏感	
		24) 少しの違いで大きな不安を感じる	
感覚	感覚が敏感または鈍感	25) 聴覚の過敏や鈍感がある	✓
		26) 視覚の過敏や鈍感がある	
		27) 触覚の過敏や鈍感がある	✓
		28) 嗅覚の過敏や鈍感がある	
		29) 味覚の過敏や鈍感がある	
		30) 前庭覚の特有の感覚がある	

氷山モデルシート



個人ワーク | 支援のアイデアを選ぶ

1. 特性確認シート（冰山演習用）の支援のアイデアから、田中さんの支援に使えるようなものを2～3項目選びます。
2. 冰山モデルシートの必要なサポート欄に転記します。

グループワーク | 支援のアイデアを考える

1. 司会・記録を決めます
2. 選んだアイデアをグループで共有します

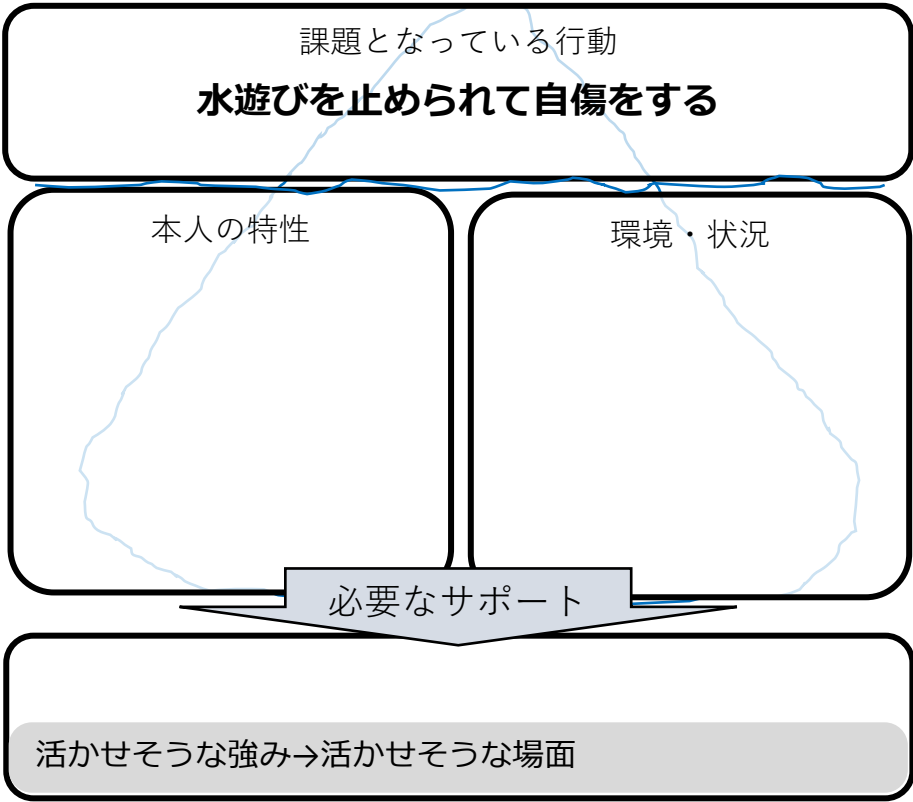
※ワークシート⑥「冰山モデルシート（グループ用）」に記入

さらに「強み(ストレングス) 確認シート」を使って 具体化します

強み(ストレングス) 確認シート（冰山演習用）

本人の強み（ストレングス）	活かせそうな場面や状況
わかること・できること 例）なくなったら終わり、ペットボトルのふたを開ける ハサミを使うのが上手 など ・長い距離でも歩くことができる ・お茶を見せるとベンチに座って飲むことがわかる ・絵本の「くるま」を見て「外出」するのだと理解したことがある	
好きなこと（遊び方、過ごし方、キャラクターなど） やりたがること 例）ハンモックで揺れる ○○のキャラクター ビットリはまる 色を合わせる ・キラキラするものが好き ・静かな部屋で一人で過ごす ・同じマークを見つけると重ねている ・ゆれる感覚に没頭することがある	 ・マークを使って活動の理解ができないか ・ゆれる感覚で適切な遊びを提供できないか
得意なこと（これには助けられているなど）見方を変えれば得意かもしれないこと 例）目的がわかれば待つことができる 変更は苦手だがいつもと同じことはできる ・こちらの意図がわかれば素直に応じてくれる ・人には関心がないが物には注目できることが多い	 ・物を使ってルールを伝えることはできないか ・タイマーで終わりを伝えられないか
その他	

冰山モデルシート



強み（ストレングス）を活用します

強み（ストレングス）確認シート（氷山演習用）

本人の強み（ストレングス）	活かせそうな場面や状況
わかること・できること 例）なくなったら終わり、ペットボトルのふたを開ける ハサミを使うのが上手 など ・長い距離でも歩くことができる ・お茶を見せるとベンチに座って飲むことがわかる ・絵本の「くるま」を見て「外出」するのだと理解したことがある	
好きなこと（遊び方、過ごし方、キャラクターなど） やりたがること 例）ハンモックで揺れる ○○のキャラクター ピッタリはまる 色を合わせる ・キラキラするものが好き ・静かな部屋で一人で過ごす ・同じマークを見つけると重ねている ・ゆれる感覚に没頭することがある	 ・マークを使って活動の理解ができないか ・ゆれる感覚で適切な遊びを提供できないか
得意なこと（これには助けられているなど）見方を変えれば得意かもしれないこと 例）目的がわかれば待つことができる 変更は苦手だがいつもと同じことはできる ・こちらの意図がわかれば素直に応じてくれる ・人には関心がないが物には注目できることが多い	 ・物を使ってルールを伝えることはできないか ・タイマーで終わりを伝えられないか
その他	

個人ワーク | 活かせそうな強みと場面

1. スtrenグスシートの強みを見ながら、支援に活かせそうな場面や状況を考えます。
2. 氷山モデルシートの必要なサポート欄に支援に活かせそうな強みと活かせそうな場面を転記します。

グループワーク | 活かせそうな強みと場面

1. 司会・記録を決めます
2. 活かせそうな場면을グループで共有します

※ワークシート⑥「冰山モデルシート（グループ用）」に記入

氷山モデルシートが完成しました

課題となっている行動 水遊びを止められて自傷をする

本人の特性

- 1) 相手への関心が薄い
- 5) 周囲の様子から期待されていることを理解するのが難しい
- 6) 見えないものの理解が難しい
- 7) 話し言葉の理解が難しい
- 11) どのようにして伝えたらいいかわからない
- 18) 今やることが自分で判断することが難しい
- 19) 先の予測をすることが難しい
- 22) 興味関心が狭くて強い
- 27) 触覚の過敏や鈍麻がある

環境・状況

人：支援者はことばで指示を出している
物：水道が見えやすい場所へ出かけている
場所：公園での目的が柵でゆれるか、水道で遊ぶかに見えていた
状況：どうなったら終わりかがわかりにくい
状況：公園に何をしに行ったのかわからない

必要なサポート

(支援のアイデア)

- C) 「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかるように伝える
- D) 本人が理解できる見える情報で伝える
- G) 本人にわかりやすく予定を伝える

(活かせそうな強み→活かせそうな場面)

- ・お茶を見せるとベンチに座って飲むことがわかる→活動の切り替えにお茶を使えないか
- ・絵本の「くるま」を見て「外出」するのだと理解したことがある→イラストで活動を知らせられないか
- ・物に注目できる→タイマーなどで終わりを伝えられないか
- ・揺れる感覚に没頭することがある→揺れる感覚で適切な遊びを提供できないか



動画を視聴します

- 支援のアイデアを強みを活かして具体化し、支援手順書を作成しました。
- 支援手順書を使って支援した動画を視聴します。

演習のまとめ | 行動の背景と捉え方

- 課題となる行動には、障害特性に起因する何らかの理由がある
- 「冰山モデル」を使った行動の背景を捉える考え方が有効
- 「本人の特性」と「環境や状況」を整理し課題となっている要因を明らかにする事が根拠に基づいた適切な支援の第1歩
- 導き出された支援のアイデアは、本人の強みを使って具体化される